

学習指導研修会の提案から

「考える力」を
はぐくむために

置賜教育事務所では、教科研究プロジェクトチームを組織し、『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会」による研究を進めて参りました。その提案の場として、今年度は4回の「学習指導研修会」を実施しました。

研修会に参加された先生方の声をもとに、提案授業の成果をまとめてみました。



中学校数学（10月17日） 2学年 一次関数（題材：ピックの定理）
高島町立高島中学校 授業者 渡部 一喜 教諭

点の数（図上点と内部点）と面積の対応表から一次関数の関係があることを理解し、その関係について説明することができる。

《参加された先生方の声》

○生徒の言葉を拾いながら授業をコーディネートしていたこと、停滞を感じると必ず全体で確認を入れているところなど、生徒の思考に寄り添って授業されていることがよくわかった。

○子ども達の言葉を使って課題設定や「辺点」「内点」などのネーミングが行われておりとてもよかった。



○「あっ分かった!」「ほんとだ!」「おーすごい!」等の声がいろいろな班から聞かれ、生徒が数学を楽しんでいる場面をたくさん見る事ができた。

○生徒にとって必然性のある課題設定により、子ども達は熱心に課題追究に取り組めることをあらためて実感できる授業だった。持ち帰って自分でもやってみたいと思った。

○教材のおもしろさやそれに対する教師の思いを、限られた時間の中でどう計画していくかについて考えさせられた。



中学校外国語（10月21日） 2学年 Unit5 Universal Design
高島町立高島中学校 授業者 尾形 浩一 教諭

接続詞 that (I think that～.) を用いて、積極的に英語で話そうとする。

接続詞 that を用いて自分の考えや思いを伝え、さらにもう1文理由を付け加えて意見を交換することができる。

《参加された先生方の声》

○All English は“生”の英語なので効果は大きいということを実感した。

○英語のシャワーを浴びせることが大切であるということに改めて感じた。

○英語におけるインタラクティブな活動を促すためのICTの効果的な活用（モデル文、本時のゴールの姿の提示等）の仕方を学ぶことができた。

○ドリル場面での先生方を題材にしたクイズ、高島のNo.1 スポットなど、身近な話題を取り入れていて、生徒も驚きや発見が多かったと思う。

○パターンプラクティスがとても丁寧（全体から個人、個人から全体の練習）で、本時のキーセンテンスをほぼ全員が一度は全体の前で話す機会があった。

○本時のゴールとしてどこまでねらうのかについて考えさせられた。ねらいを絞りより明確にしていく必要があると思った。





小学校算数（10月24日）5学年 面積
南陽市立宮内小学校 授業者 西山 俊樹 教諭

既習の図形である長方形・三角形・平行四辺形などの面積の求め方に帰着させ、台形の面積の求め方を考えることができる。

《参加された先生方の声》

- 単元を通して子ども自身が「やってみたい!」と思えるしかけで展開されていた。「陣取りシート」の図形も大変よく吟味されていた。
- 「前に出て説明します。」「相談させて下さい。」など、自ら行動する子ども達の前向きな姿が素晴らしかった。
- 友だちの考え方について、式だけ見せる、図だけ見せるという部分的な提示が、子ども達に思考を促すものになっていた。
- 普段からの3人グループでの学び合いが、とてもよい雰囲気の中で行われていた。「〇〇法」が学級内で共有されており、前時までの考え方が本時で生かされていた。
- 見通しに時間をかけることで一人一人がしっかり取り組めるよさはあるが、追究する意欲やグループで考える必要感が弱くなったり、交流の時間が短くなったりする面もある。



小学校国語（11月4日）4学年 読んで考えたことを話し合おう「ごんぎつね」
南陽市立赤湯小学校 授業者 後藤 昌幸 教諭



松たけをひろっては兵十の家にとどけるごんの様子を想像しながら読み、友だちと考えを交流することを通して、毎日兵十に会いに行くごんの気持ちについて考える。



《参加された先生方の声》

- 細やかな準備や前時の流れがよくわかる掲示物がとても参考になった。今までの固定観念に新しい風が吹き込んだように感じた。
- おさえたい表現や気付かせたいごんの様子など、教師が取り上げるべき本時の学びを明確に持ち、授業を組み立てることの大切さを感じた。
- 付箋を使って自分の考えをはっきりさせる、ネームプレートで立場をはっきりさせる、変容を感じとらせるなど、有効な手段を様々学んだ。
- 研究協議の際の授業者からの言葉に児童名が出ていて、この単元で育てていきたいことが語られていて感心した。担任の思いのある授業が大事であることを改めて感じた。
- グループ活動でも全体の活動でも、全員が発言する場の設定が難しいと思った。

4つの貴重な提案授業をもとに、参加者による活発な研究協議が行われました。また、アドバイザーの先生方に授業に対するご助言もいただき、どの回も学びの多い大変充実した研究会となりました。ご参加いただいた先生方、教科研究員の先生方、また会場を提供して下さった会場校の先生方に感謝申し上げます。